

『【根本理念】子供の命を守り抜く』ために

全ての職員が徹底すべき6箇条

1 全ての教育活動において、子供の命を守るための「安全管理に敏感になる」こと

⇒ アンテナを高く維持し続けるため、「知識や技能」を得る研修や研鑽が必要

2 自身の判断を過信せず、「児童生徒や同僚の声に耳を傾け、思いや提案を受け入れる」こと

⇒ アンケート等、声を聞くための体制やシステムの構築が必要

3 安全管理上のリスクに気が付いた場合、「すぐに教職員間で情報共有を図る」こと

⇒ 気軽に意見やアイデア等を共有できる雰囲気や、根本理念のもと信頼して方策を言い合える関係づくりが必要

4 情報共有された内容を管理職に報告・連絡・相談し、「想定される危険性への対応策を構築する」こと

⇒ 根本理念をもとにしたブレない検討が必要

5 対応策が構築されない場合や、「根本理念から外れた意見が押し通されそうになった場合は、実施しないを選択する」こと

⇒ 実施しないという選択が困難な場合、その他の教職員や時には教育委員会への相談も必要

6 一人では安全管理に限界があるため、「全ての教職員がそれぞれの役割に応じて補完し合う」こと

⇒ 組織として動くために、校内掲示板等を活用し、重要な情報をタイムリーに伝え合うことが必要